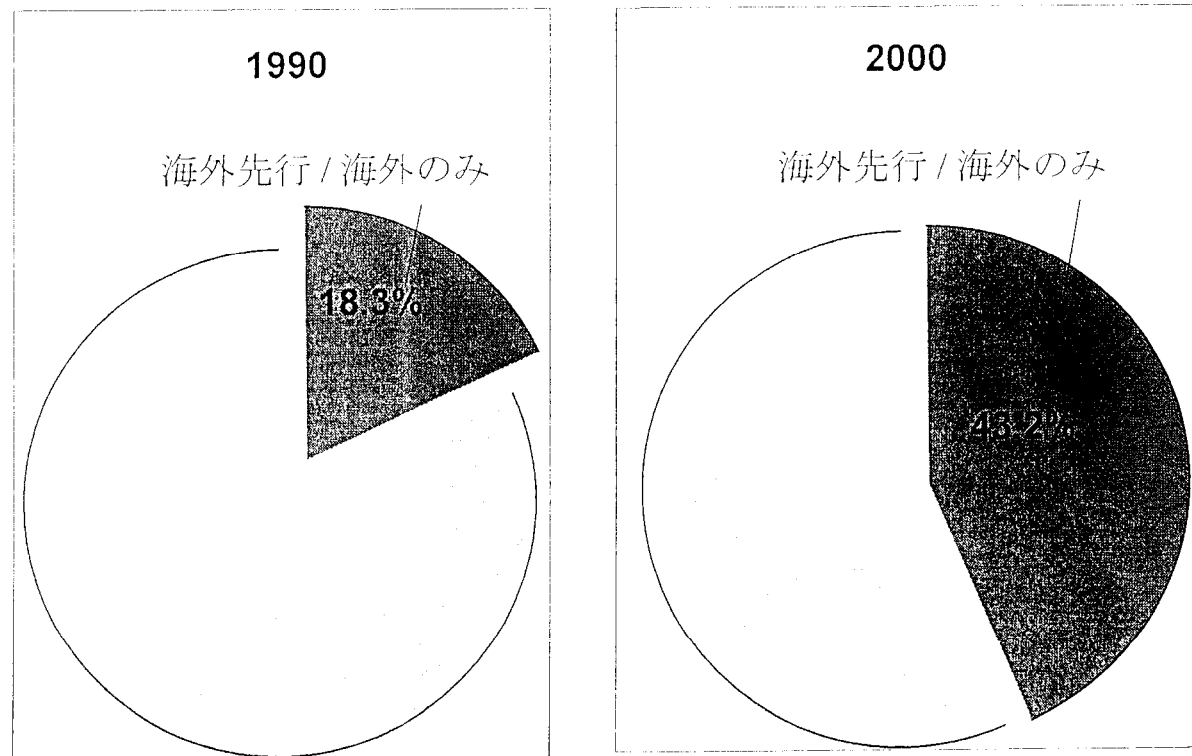


補助データ

新薬開発は海外へシフトしている

治験の地域別推進状況
(日本製薬工業協会会員企業)

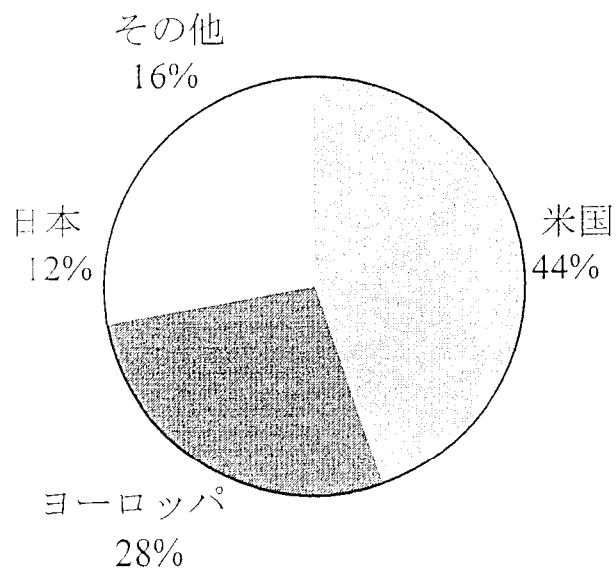


資料：2000年12月 JPMA

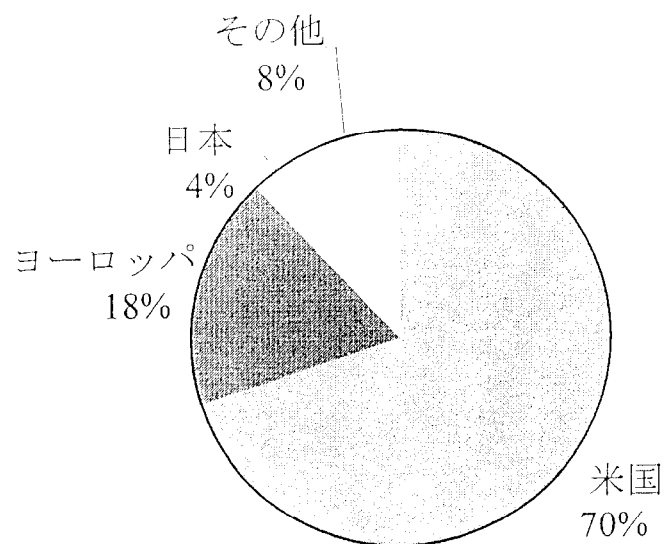
- 国内外同時開発
- 国内先行 / 国内のみ

国際医薬品市場のシェア

医薬品総売上高に
占める市場シェア

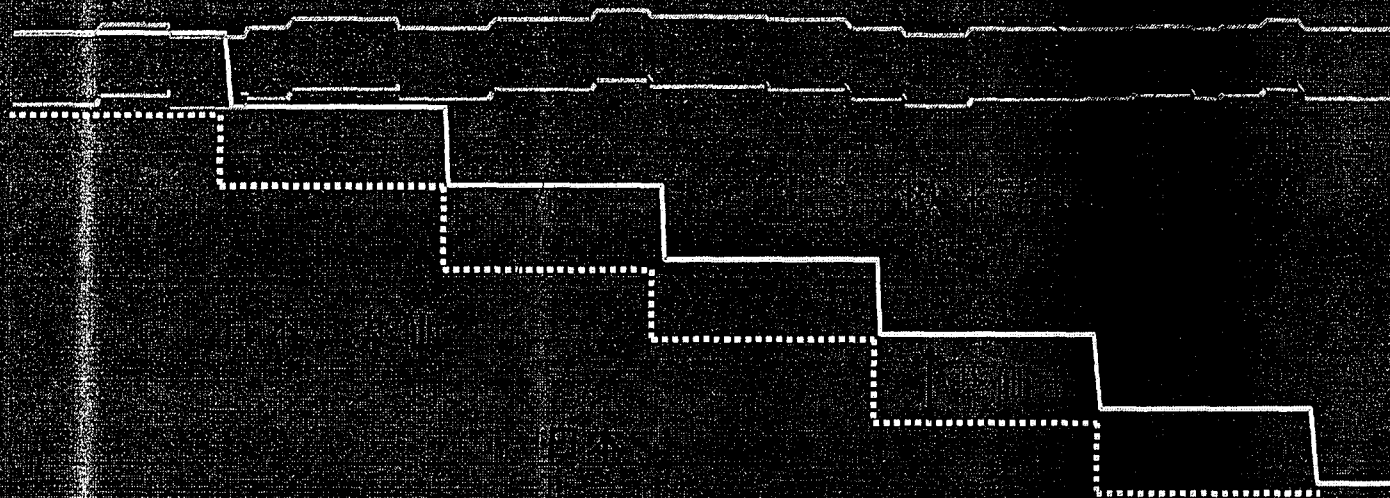


新薬(1998~2002年販売開始)に
占める市場シェア



出典 : PhRMA, OPIR Research Paper No.23 2004.10

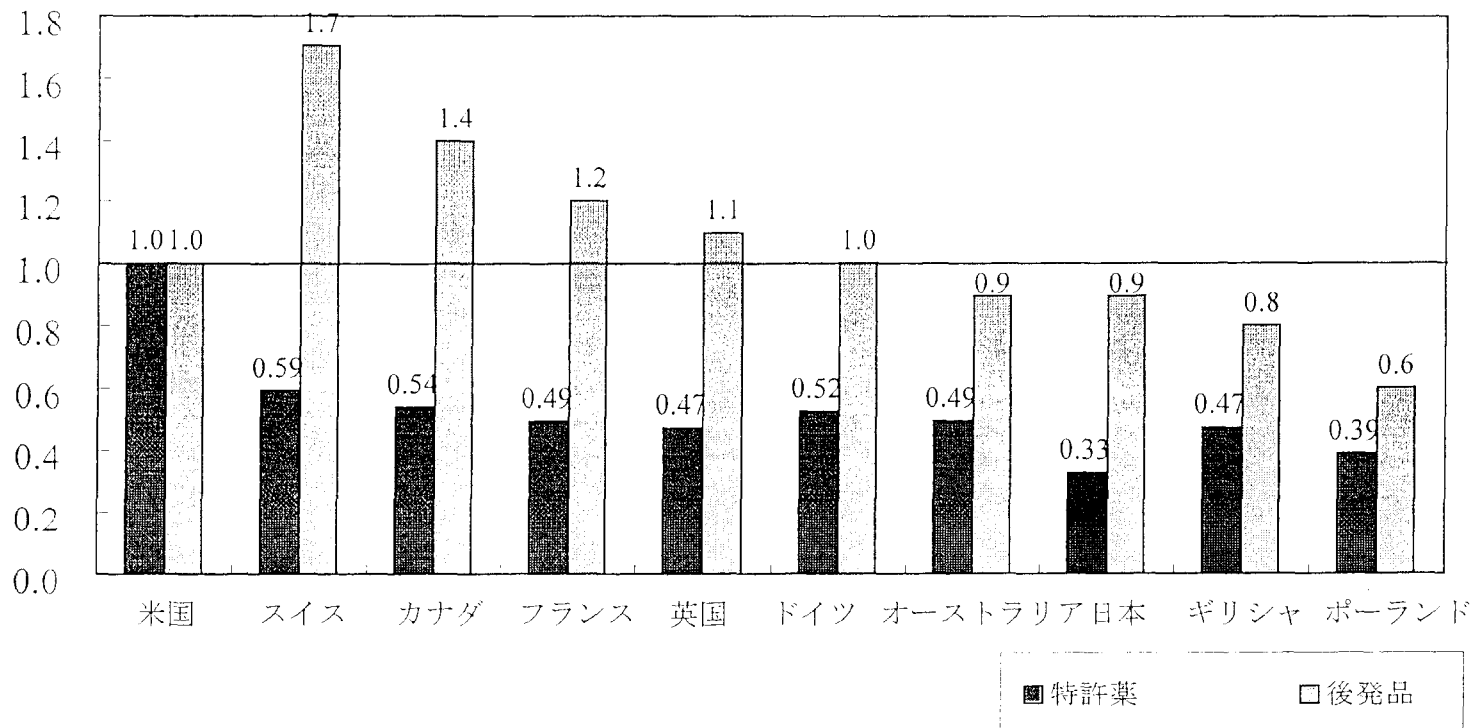
日本は研究開発指向型製薬産業を失ってきた：
薬価改定は市場での価格競争から乖離している



日本の薬価はOECD諸国との比較において 相対的に低い

2003年の薬価 (標準単位あたり)

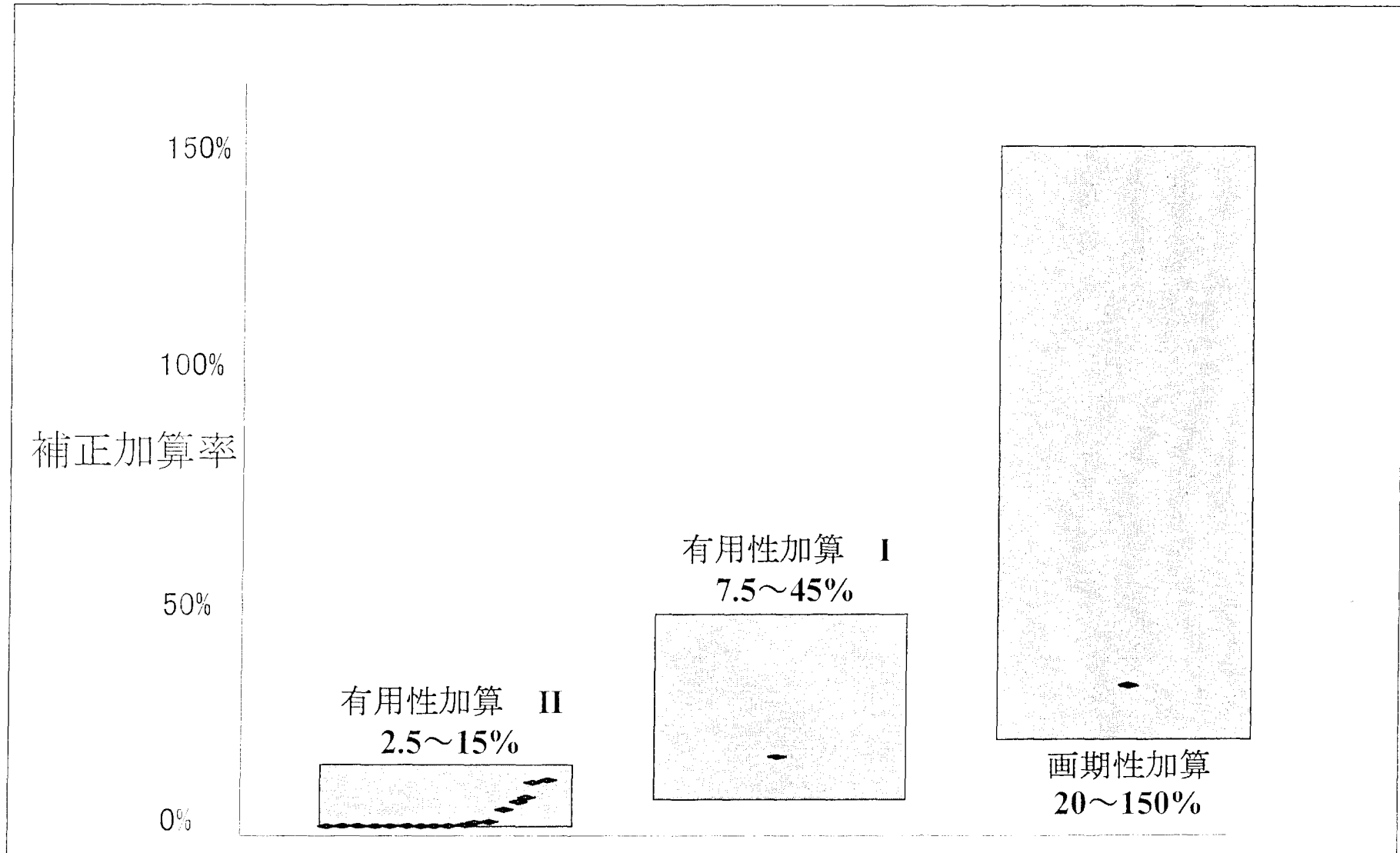
(指標： 米国価格=1.0)



*Price Index : Fisher価格インデックスが使用されている。これはLaspeyresインデックスとPaascheインデックスの幾何平均である。

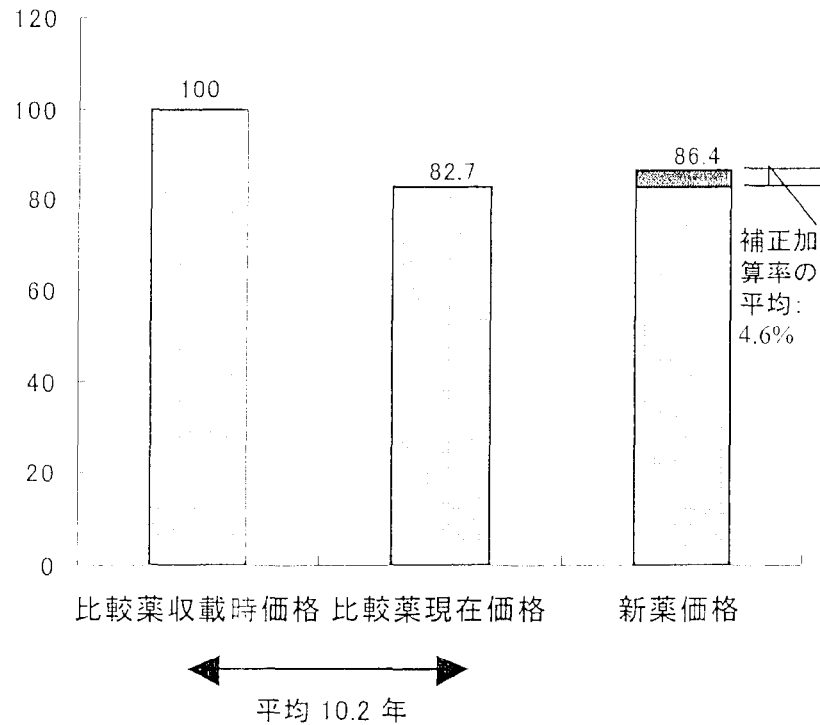
資料 : "Pharmaceutical Price Controls in OECD Countries", U.S. Department of Commerce, 2004

薬価制度の補正加算率の幅と 実際に適用されている補正加算の分布

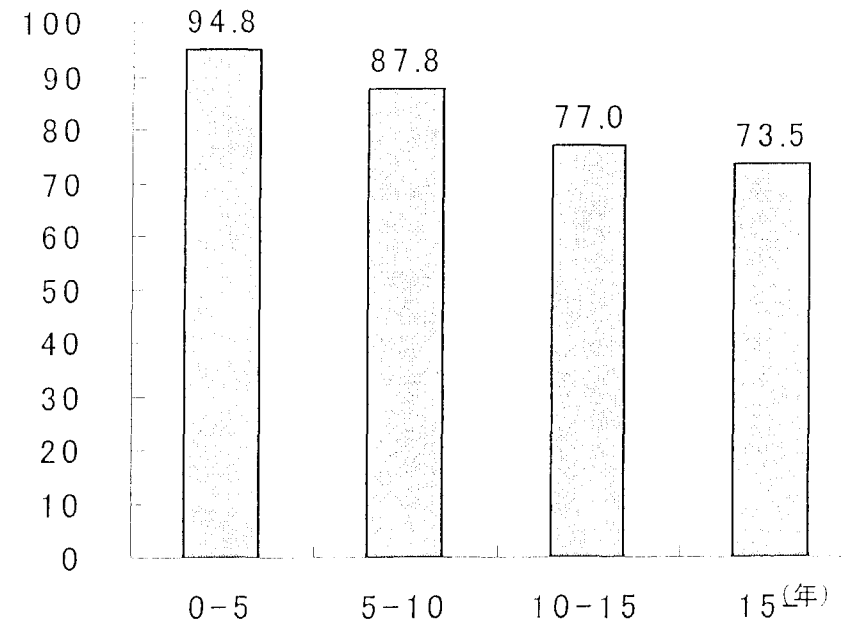


算定比較薬の薬価下落の状況

算定比較薬の収載時薬価を100とした場合の
新薬の算定薬価



算定比較薬の薬価: 収載期間別
(算定比較薬の収載時薬価を100)



注: 薬価算定組織設立後に収載された新薬のうち、有用性加算IもしくはIIが付加されていた24の品目を対象とした

新薬価格の多くが外国平均価格を 下回っている

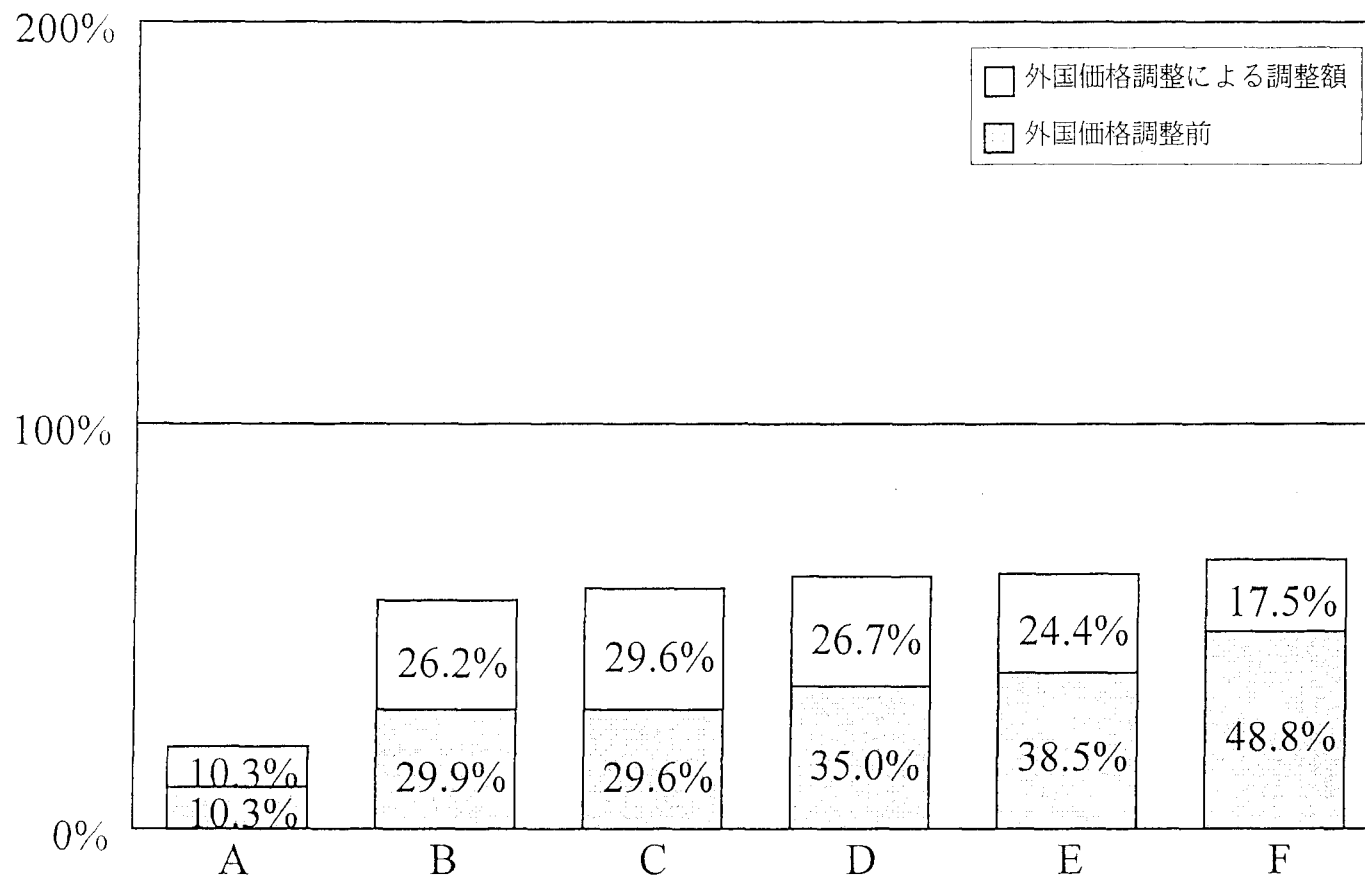
外国価格調整前の日本の薬価 / 外国平均価格 (全新薬と外国価格)

算定薬価 (調整前)	薬価算定組織(DPO) 設置前 (1997年6月～2002年4月)		薬価算定組織(DPO) 設置後 (2002年6月～2005年4月)	
	医薬品数	(%)	医薬品数	(%)
～ 0.75	25	(21%)	16	(38%)
0.75 ～ 1.5	59	(50%)	21	(50%)
1.5 ～	34	(29%)	5	(12%)
合計	118	(100%)	42	(100%)

不十分な価格引き上げ調整

出典：中医協の公表データを元にPhRMAが分析

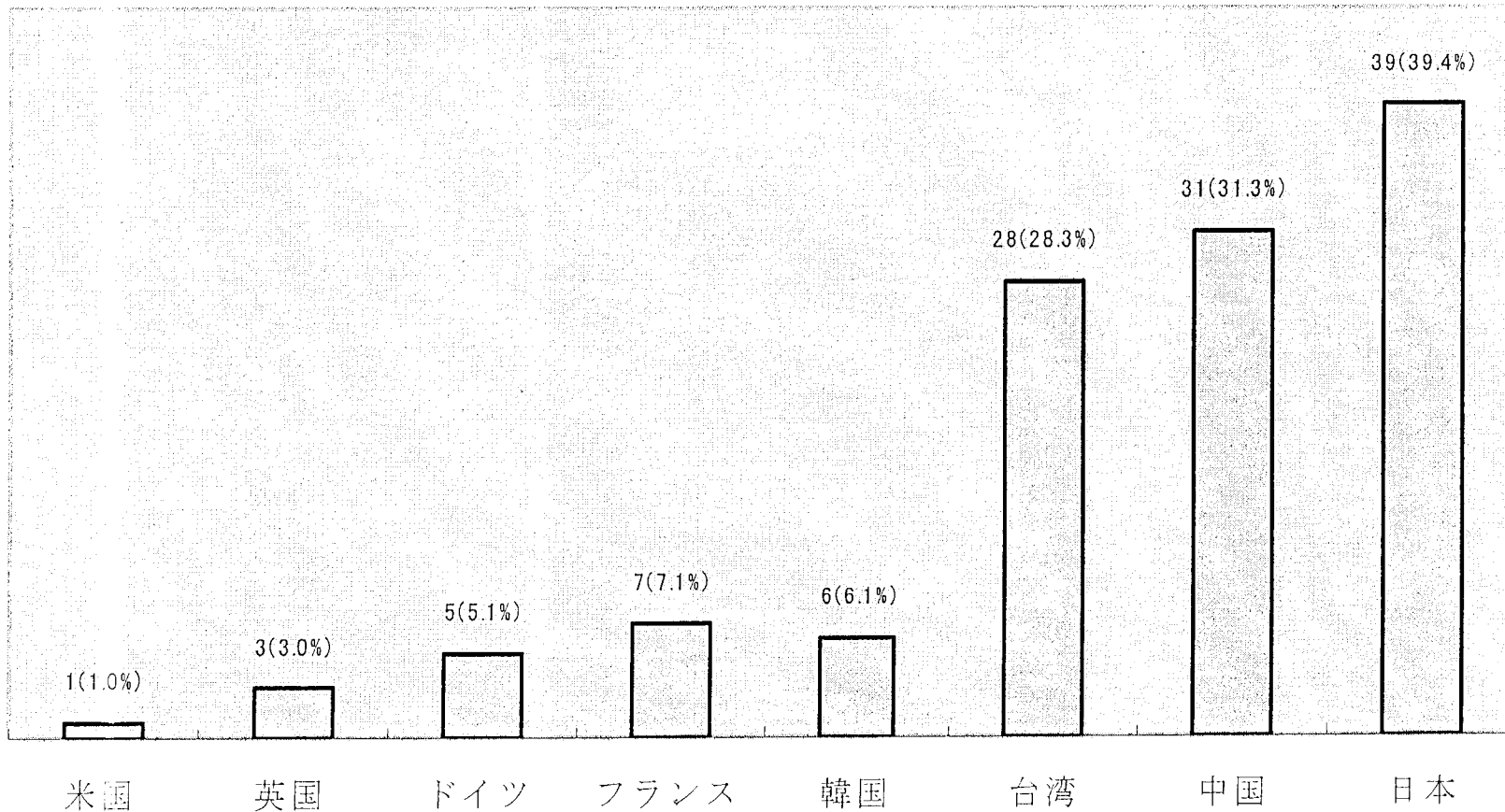
外国平均価格の占める割合
2002年4月以降に発売された全医薬品のうち、外国価格調整
前の価格が外国平均価格の50%未満の医薬品



国際的主要医薬品の承認において 他のアジア諸国に遅れをとる日本

未承認薬の数

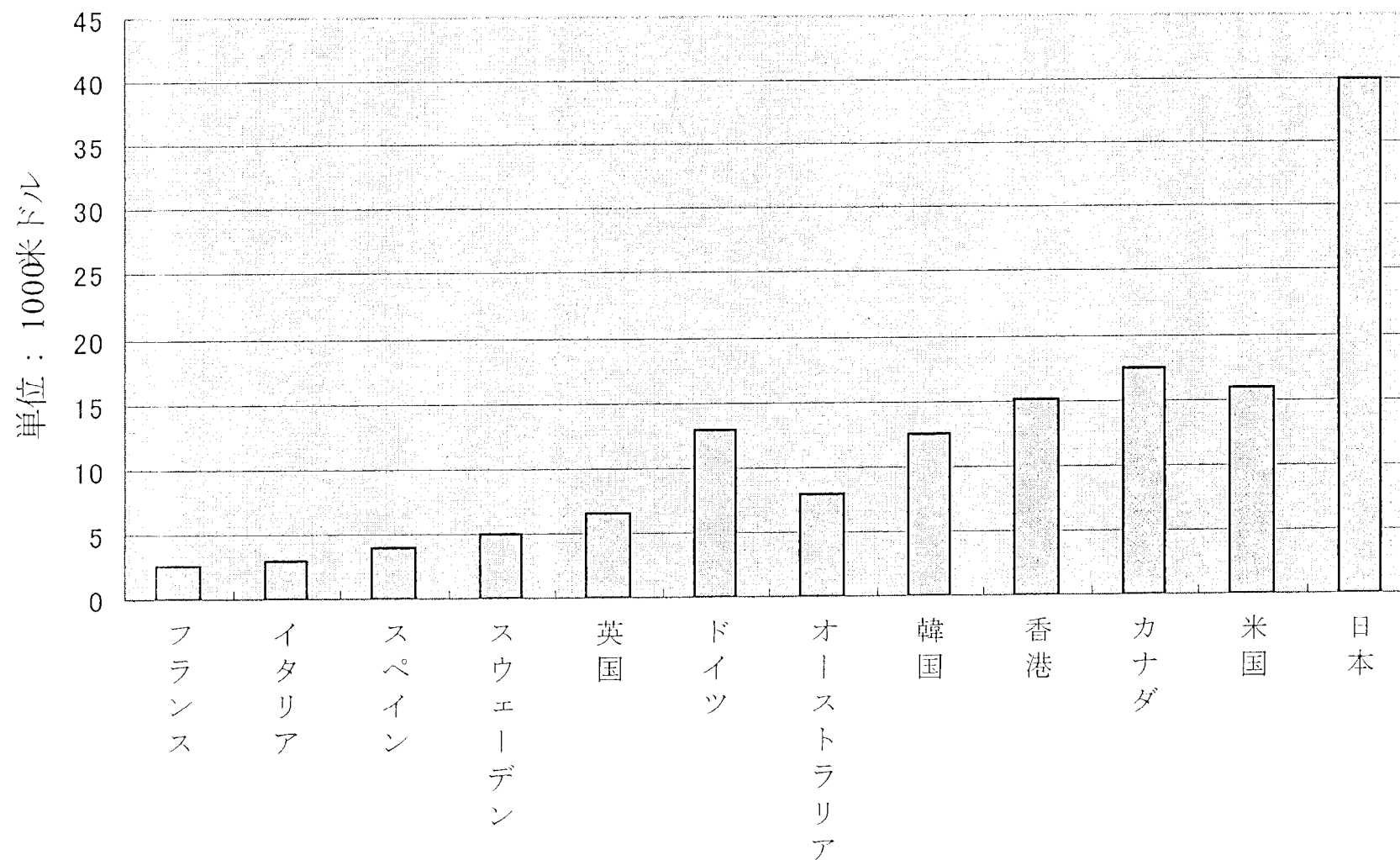
世界売上高ランキング上位99品目



世界売上高ランキングの103品目のうち、99品目のデータを採用(無効データ4品目は除外)。
データは、2004年9月のものである。
出典：グラフは、Pharmaprojectsのデータを編集したものである。

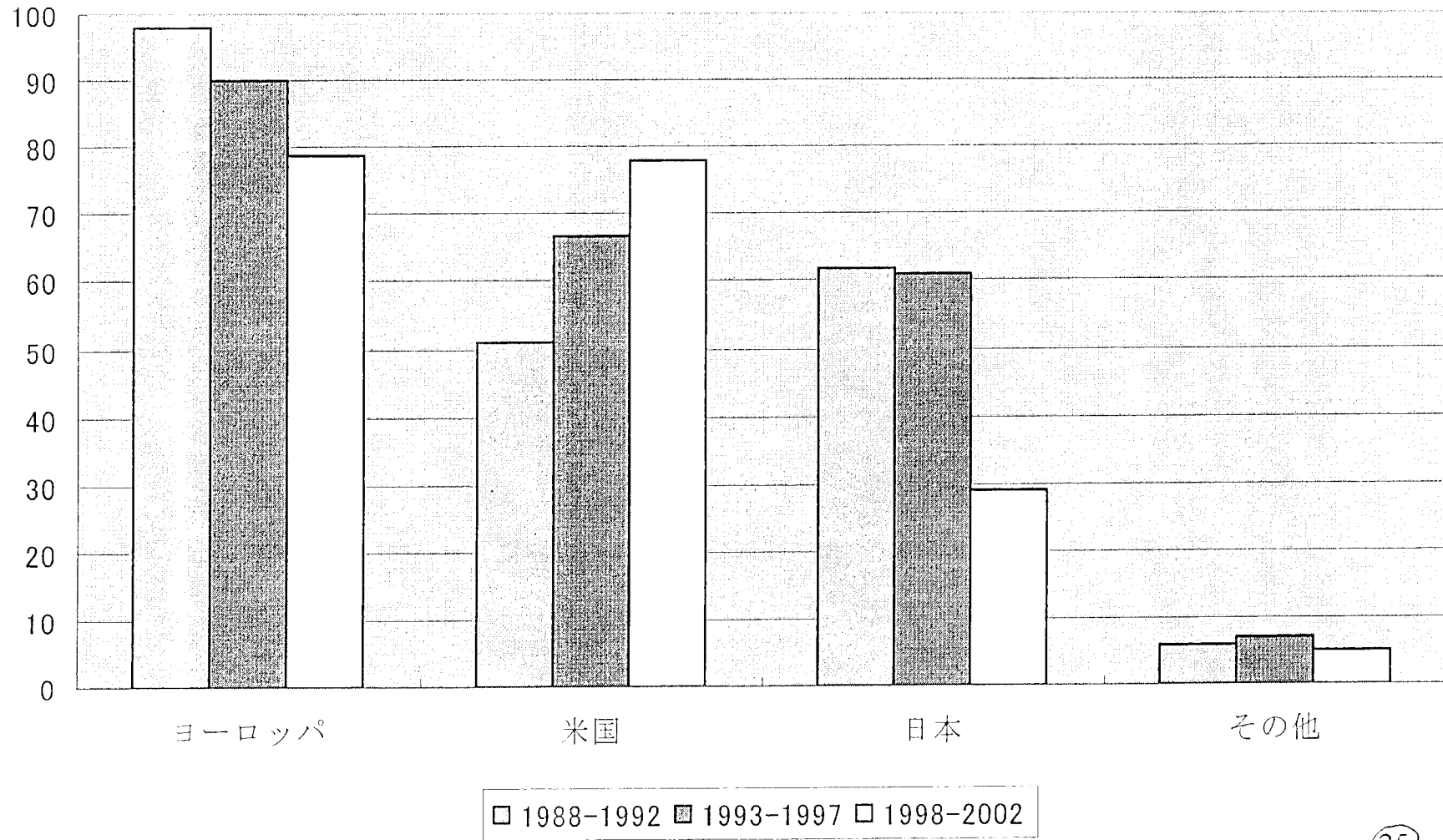
日本では2倍以上に達する臨床試験のコスト

ICH地域における患者1人あたりの臨床試験および公示コスト



出典：第4回北里大学ハーバードシンポジウム

親会社の国籍別に見る新規化学物質または新規生物学的物質の数 1988～2002年



出典：SCRIP-EFPI Calculations (親会社の国籍別)